



学校だより

第10号ジャカルタ日本人学校
令和4年(2022年)1月31日
校長 緒方克行
TEL: 021-745-4130

末子配付

為すことによって学ぶ

背筋を伸ばした体育すわりをしながら、真剣なまなざしで話を聞く子どもたち。

「しっかりやるよ!」と声をかけ合いながら練習に励む子どもたち。

そして、ふれあいフェスティバル当日、子どもたちから「精一杯がんばるぞ!」という気迫が伝わってきました。出番を終えた顔は、みな満足した表情でした。帰りのバスに向かう「さようなら」のあいさつも、いつもより大きく勢いがあるように感じました。

「寒くないですか?」「体調の悪い人はいませんか?」「時間に遅れるよ、少し急ごう」

どれも、6年修学旅行で子ども同士が掛け合っていた言葉です。キャンプファイヤーでは、6年生のふれあいフェスティバルで披露したダンスが自然発生的に踊られ、自分たちの踊りだというメッセージが伝わってきました。お世話になったインドネシアの方々にも「Terima kasih」と自然にお礼を伝えていました。ほとんどの子どもたちにとっては、去年の体験宿泊学習が中止となったため、人生初の宿泊行事でした。しかし、自分の行動はもちろんのこと、互いに気を配りながら助け合って活動していました。そして、子どもたちは心をひとつにして全員で取り組むことを楽しんでいるように見えました。

学校行事は、人間関係構築力や洞察力など、いわゆる目に見えにくい力を子どもに育みます。

- ・ 一体感を体験し良さを味わいながら、集団の良き構成員となる力
- ・ 状況を見て、判断しながら先の行動を読む力
- ・ 公共の場での立ち振る舞いを実践しながら育む公共心
- ・ 人を思いやり、感謝する心

このような資質や能力は、もちろん座学で行う教室の授業の中でも育まれますが、実際に為すことによって学ぶことで、確実に子どもの中に培われていくのです。これからも、活動の機会をできるだけ作り、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。

コロナ感染防止について

ジャカルタ市内でも感染の拡大が報じられるようになりました。学校としても感染防止のために対応しているところですが、オンライン授業・水泳学習・社会科見学・修学旅行など今後の教育活動について、今週中にお知らせいたします。

お知らせ欄

オミクロン株の感染が心配されています。感染拡大を防止するために、新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドラインを再度確認してください。(本校 HP に最新版がアップされています。)
特に、体調不良がある場合には、登校を控え、医療機関を受診してください。また、同居の家族(保護者及び本校に通っていない兄弟、祖父母なども対象です)に発熱や風邪症状がある場合も、学校へ連絡の上、登校を控えてください。ご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度末で任期を終える教職員をお知らせします。

小学部	上田 大樹	澤西 勇樹	中学部	駕屋 妙子	教育相談	加藤 裕章
	仲程 幹	豊田 葵		小笹 隼人	養護教諭	岡田 愛美
	野宮 久未佳	国分 未里		竹越 功祐	EC	Kotcher
	清水 綾華	阿部 勇登		竹中 政明		Paul
	沼崎 有海	大北 沙織		尾針 このみ		Said
	北岡 良仁	鈴木 一史				
	高木 紳郎	林 和未				
	土井 亮					
